

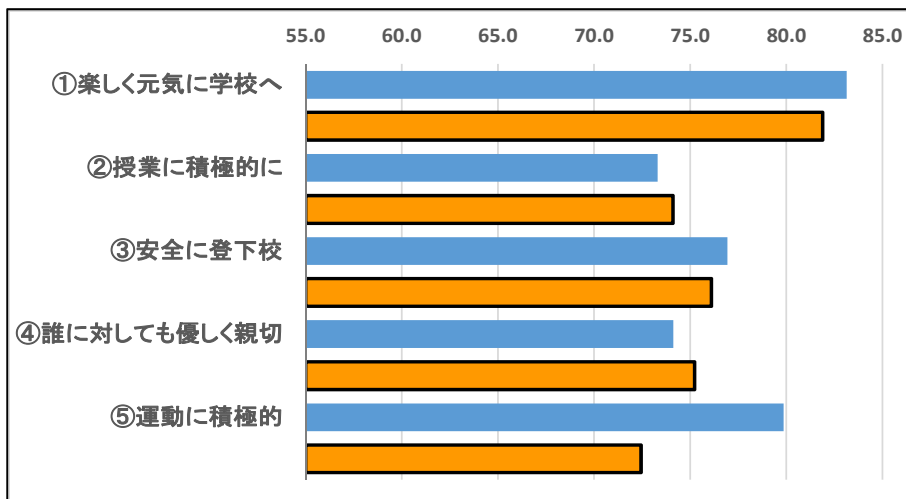
【平成30年度 江東小学校 学校評価報告 '19.2.20】

2学期末にご協力頂いたアンケートの結果と、それについて2/15に学校評議員の皆様からご指導をいただいたことについて、報告いたします。

<ポイントとグラフの見方>

- ・◎○△▲の4段階で評価を頂きました。全回答が◎ なら100p, ○なら66.7p, △なら33.3pになります。
(従って, ◎と○が半々なら83.3p, ○と△が半々なら50pになるということです。)
- ・グラフは上段の棒が昨年度, 下段の太棒が本年度を表しています。

1 子供たちの様子

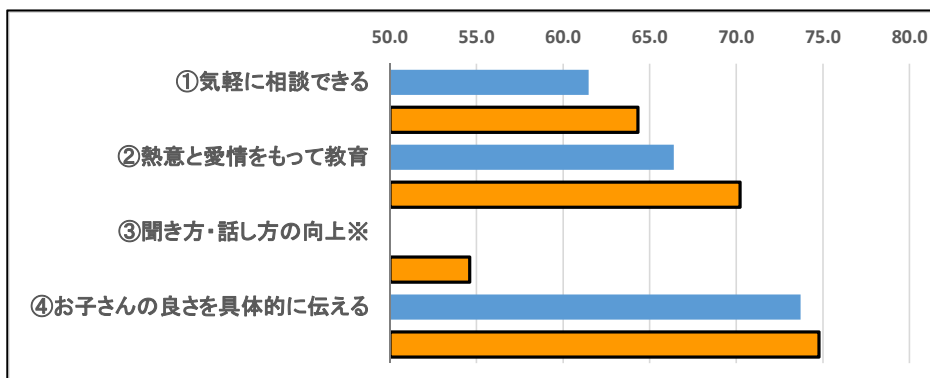


①～④は昨年と大きな変動はありませんでした。

最も大切な①を限りなく100pに近づけることが目標であることに変わりはありません。

⑤は7.5pのdownで、児童アンケートからも、高学年ほど意欲の低下が見て取れました。体力作りのための「すくすくタイム」を週1回に絞ったことも原因の1つと考えられ、種目の工夫や記録の向上を広めるなど、意欲を高める取り組みをしていきます。

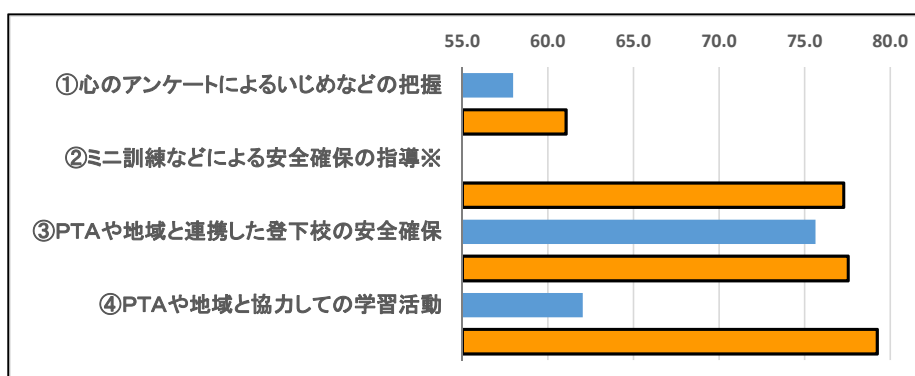
2 職員の指導など



全体的に point が低く、③の聞き方・話し方（※印は今年度の新規の設問です）は、授業参観でご覧になった子供たち（さぞかし緊張するのでしょうか）の様子からの評価だと思います。学校では聞き方の「型」はかなり定着しましたが、高学年ほど質問や反対をすることに抵抗を感じているようです。「分からないことがあったら尋ねること」「相手が理解・納得するよう理由を挙げて話すこと」は学習だけでなく仲間との生活でも大切なので、乗り越えてほしいハードルです。

よりよい話し方が身に付く指導や、伸び悩みが見られる④の子供たちの良さの捉え方やお伝えのしかたについて、勉強しながら取り組んでいきます。

3 学校の取り組み等

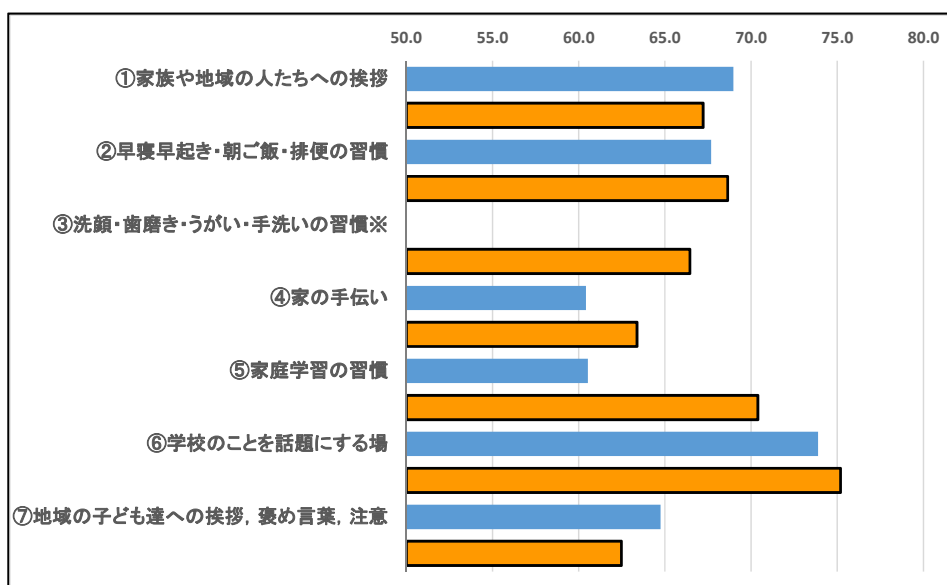


② ③④については皆様に広まりつつあり、ありがたいことと思います。緊急時の初動を身に付ける「ミニ訓練」は、子供たちも「ためになる」という気持ちで臨んでいます。

伸びが顕著なのは④で、運動会や江東祭りでのお働きなど、子供たちを支えて頂いている様々なお尽力のおかげです。また、米作りや民俗資料を活用した学習など、地域の方々にもお世話になっています。

① のアンケートはあくまでも悩みなどを捉える一つの手段です。日常のふれあいや見取りを第一に、早期発見・未然防止に努めます。

4 家庭・地域での子供たちの様子



⑤の家庭学習の習慣はご家庭のご協力により約10pの伸びが見られました。4年生以上の自主学習には個人差がありますが、宿題の提出については向上しています。

⑥はpointが高く、学校のことを親子で話しておられることが分かりました。子供たちが話をするときは「分かってほしい・認めてほしい」という気持ちだと思います。私たち大人はそれをくみ取ることが大切ではないでしょうか。

②～④については（特に洗顔）ご家庭にてご指導ください。

<学校評議員の皆様より>

2月15日の学習発表会参観の後、会議室で会をもちました。当日の子供たちの姿や教師の指導の様子、保護者アンケートの結果分析などについて、ご指導を頂きました。

○1年生は自分ができるようになったことを一生懸命に発表する姿が初々しく、また、長く語れる力が育っていることもよく分かった。

5年生は全体的に落ち着いている。地図を指したり実演したりしながら説明していて、自分たちで考えた発表だったことがよく分かった。

さすがは6年生、空き教室の整頓ができていた。保護者の参加も多く、ネットの学習に真剣に臨む姿からも、中学校に向かう気持ちが伝わってきた。

○子供を見つめながら笑顔で発表を聞く親さんたちを見て、こちらも嬉しい気持ちになった。

○仲間の話を聞く子供たちの姿に、成長を感じた。よいつぶやきもたくさんあった。仲間を応援する姿もあった。先生はそうしたことに気付いて表情豊かに褒めてほしい。大人はもっと子供の素晴らしいところを見つけて伝えていきたい。「〇〇さんがあなたの～を褒めていたよ」といったメッセージは子供をさらに前向きにする。職員室でそうした情報が交わせる先生方であってほしい。

○登下校に関する意見が学校に寄せられているが、他に求めるのではなく、当事者である保護者や自治会が自分たちのこととして連携をしながら頑張らなければならないと私は思っている。また、登校班は子供の安全を守るためにあるので、自治会や子ども会への所属とは切り離して考えるべきであることをもう一度確認したい。

○顔を洗って学校に来る児童が60%と聞いて驚いた。勉強も含めて家庭で」の生活習慣は親が付けなければならない。

<今後に向けて>

ご指導ご助言頂いたことも含め、次の課題を中心に、取り組んでいきたいと存じます。

- ・言語活動の力の育成 → 子供どうしのやりとりを高めたい。
- ・体力作りへのモチベーション
- ・子供の長所や頑張りをキャッチして価値づける教師の感性やスキルの向上

ご協力ありがとうございました。今後も江東小学校をよろしく願いいたします。

(校長 田野 武彦)